

令和３年第１回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する代表質問

質問順位	1	質問者	荒木文一議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 新型コロナウイルスワクチン接種の基本的な実施体制について	1. ワクチンの供給スケジュールが示されない中での準備体制の構築は極めて困難な作業であると認識します。予防接種という特性から、滝川市医師会を含む医療者の協力は不可欠であり、本来、行政が望む実施体制となるかは何の保障もないのが実態であることも十分理解します。 そこで、医療従事者の接種後に予定されている高齢者、基礎疾患を有する市民、高齢者施設従事者、一般市民などの多数の接種について、集団接種または個別接種、さらには併用と自治体の実情に合わせた方法が考えられますが、現時点での大きな方向性について伺います。 また、本市がどのような接種体制になったとしても、市民の理解と協力が必要であり、実施方法については、少しでも早い情報開示が必要と考えますが、お考えを伺います。		
	2. ワクチン接種体制整備における課題解決について	1. 事前準備については、様々な課題への対応、膨大な事務作業、実施や実施後のフォローなど、通常業務と並行した行政職員による作業には限界があると想定します。 必要と思われる人員については臨時的な任用も含めて躊躇なく配置していく方針と確認して良いか伺います。 また、国は接種に関わる費用については全額負担する旨を表明していますが、実施後に費用適用を除外されるような想定は全く必要なのか併せて伺います。		

質問順位	1	質問者	荒木文一議員	
件名	項目	要 旨		メモ
	3. ワクチン接種の勧奨について	1. 一人でも多くの国民が接種し、感染拡大を抑制していくことは重要な観点ですが、接種を努力義務と位置づけながら任意としている中で勧奨するのは国の役目であると認識します。 これまで本市における感染は、クラスター発生などの事例はありましたが、深刻な状況には至らず1年が経過しました。 アフターコロナを見据えた時に、人口約4万人のコミュニティでの集団免疫の獲得効果は大きく、私見ではありますが可能な限り多くの市民接種を望んでいます。 自治体の長として、市民の接種についてどのような見解を持たれているのか伺います。		
	4. 新型コロナウイルス感染拡大防止施策と経済活動の考え方について	1. 日本国内や北海道での感染状況、ワクチン接種の進捗など、現状での経済活動の拡大は難しい状況です。 滝川市内では、イベントを始めとして、会議、会合、行事などが中止・延期となっており、特に会食についても自粛を余儀なくされている状況が続いています。 次年度の状況次第では様々な緩和を期待するところですが、滝川市が主催または実行委員会として関わる諸事業について、どのような視点で再開していく考えか伺います。		
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. ICT農業の推進について	1. 農業のICT化、効率の高まりを伴う省力化は、本市の基幹産業である農業の発展に大きく寄与するものと期待しています。 市政執行方針では、農薬散布用ドローンの活用について触れられていますが、関係者の方々と実現に向けて努力されている、その他の具体的な事例について伺います。 また、補助金を含めた財政的な側面や実現に向けたハードルなど課題はないのか併せて伺います。		

質問順位	1	質問者	荒木文一 議員	
件名	項目	要旨	メモ	
	2. 新卒者の地元定着について	1. 全国の動向を見る限り、限定的な業種以外、多くの業種ではコロナ禍での就職が厳しい状況にあると認識しています。 新年度から就職し、地元に着定できる見込みなのか実態については理解できていません。近隣自治体を含め、今年度の新卒者の定着数（率）について、ここ数年との比較で伺います。		
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 交流人口増に向けた課題について	1. 長年の懸案であった「滝川ふれ愛の里」や「総合交流ターミナルたきかわ」に対するこれまでの行政施策は、評価されるものと認識しています。 新年度においては、滝川キャンプサイトを核とした周辺スポットとの相乗効果の集客力向上を目指していますが、現下を勘案すると容易ではないと思われます。例えば、認知されるためのツール不足など課題点はないのか伺います。		
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 施設解体工事の優先度について	1. 令和3年度の一般会計において「旧江部乙地区コミュニティセンター」「旧農業開発公社倉庫」の解体工事費が予算計上されています。 市内には多くの当該施設（要解体）がありますが、財源が限られている中で、基本的にはどのような優先事項があるのか伺います。		
	2. 住宅住み替え支援制度について	1. 新年度では、継続事業として既存住宅ストックの有効活用による子育て支援策が計画されています。 平成25年度から運用を開始した当該事業の実績について確認するとともに、令和2年度の執行状況からどの程度の需要を見込んでいるのか伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	荒 木 文 一 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	3. 街路灯の補助制度について	1. 令和3年度末には、市内街路灯のLED化率が82%となる見込みが示されました。全域での省力化に大きく貢献するものと認識します。また、自立柱の撤去補助の拡充も危険回避の観点から評価できると考えます。 新年度に新設予定のLED灯の交換に対する補助制度については今後の寿命増を想定すると、ある程度長期的な制度継続が求められると思われませんが、その方針であると考えて良いか伺います。		
5. 誰もが住みよい安全 安心なまちづくり	1. 市立病院看護師確保対策について	1. 近年、砂川市立病院付属看護専門学校の新卒者が希望しても砂川市立病院に採用されない事例が増えていると聞いています。在職看護師の離職も少なく十分な確保がなされている結果と想定されます。 滝川市立病院では離職の問題が解消されない限り、厳しい状況が続くと思われします。思い切った看護師業務の見直し、労働環境の改善が必要なのではないか、お考えを伺います。		
	2. 空き家対策について	1. 空き家対策は、人口減少社会での大きな問題と認識します。次年度策定の「滝川市空き家等対策計画」では、どのような論点や項目で策定されるのか伺います。		
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. コロナ禍での新入学児童への対策について	1. 4月に小学生となる新入学児童については、新たな集団生活への緊張感やストレスが生じることに加え、感染対策を含めた通常時とは異なる対策が求められると思われします。 教育委員会として、何か特別なサポート体制を考えているのか伺います。		

質問順位	1	質問者	荒木文一議員	
件名	項目	要旨	メモ	
	2. GIGAスクール構想について	1. 小中学校に一人1台端末が配備され、今後の学びのスタンダードとなりますが、デジタル教科書の導入を含め、教育現場で何が大きく変わっていくのか、また効果的な運用に向けたポイントはどのようなことが考えられるのか伺います。		
	3. 小中学校適正配置計画について	1. 第2期計画では、前期・後期の方向性が明示されています。前期5年で新たな統廃合は無いとの方針ですが、この時期に現状と今後の推移を地域関係者に説明し、将来的な理解を得るための布石とするべきではないかと考えます。 前期の具体的な対応について伺います。		
7. 市民が活躍するまちづくり	1. 「えべおつ市民大学（仮称）」の開設について	1. 農村環境改善センター運営委員会と連携して開設を目指すとしてしている「えべおつ市民大学（仮称）」については、地域活性化策として期待されるところです。 地域人材の特色を活かすとされていますが、対象者を含めどのようなイメージを想定して良いか伺います。		
	2. 資源リサイクルの推進について	1. 容器包装リサイクル法は、家庭から排出されるゴミ重量の2～3割を占める容器包装廃棄物について、リサイクルを推進することで廃棄物の減量化を図ることを目的としています。 法施行後は、年々収集量が増加し、リサイクル率も上昇基調と認識しています。 次年度から市民に協力を呼びかけられる「ペットボトル」のラベル取り外しについて、1年間の猶予期間を設定し浸透を図っていくとのことでした。 回収業者の人員不足、回収後の処理効率化など様々な問題があると理解しますが、結果として回収量が減り、可燃ゴミの増加につながらないか懸念が拭えません。市民理解と協力を得るために運用変更の理由を明確化するべきではないか、お考えを伺います。		

質 問 順 位	1	質 問 者	荒 木 文 一 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
8. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 滝川市立病院経営改善計画について	1. 新型コロナウイルス感染症の拡大という不測の事態が改善計画に影響を与えていると想定します。 今年度の実情を踏まえ、次年度においての経営改善への影響をどのように考えているか伺います。		
	2. 公共施設の在り方について	1. 文化センターのあり方検討市民会議での議論が開始され、今秋までに答申されると報告されています。市長は「必要の是非から話し合い、役割、立地などあるべき姿を議論」されることを求められているとの報道がありました。 市政執行方針では、それ以外の公共施設について、再編、統合、廃止を含めた個別具体の検討着手に触れられています。 全ての市民が納得できる答えなどあり得えないことを前提に、前例踏襲せずに庁内議論を進めていただきたいと期待しています。検討着手に向けた方針を伺います。		
	3. マイナンバーカード普及について	1. カード取得者増に向けた様々な取り組みを評価いたします。 次年度も継続的に取り組まれるものと認識しますが、市民に取得するメリットが理解されていないと思われます。 今後の周知方針を伺います。		